

平成 24 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 23 年度実績と平成 24 年度計画)

【1枚目】

事業コード	42630004	
事務事業名	北陸新幹線関連公共施設整備事業	
予算書の事業名	9.北陸新幹線関連公共施設整備事業	
事業期間	開始年度	平成13年度
	終了年度	平成30年度
実施方法	業務分類	3. 建設事業
	○ 1. 指定管理者代行	● 2. アウトソーシング
	○ 3. 負担金・補助金	● 4. 市直営

部・課・係名等	コード1	03030400
部名等	産業建設部	
課名等	建設課	
係名等	用地開発係	
記入者氏名	木村 勝	
電話番号	0765-23-1089	

政策体系上の位置付け	コード2	426003
政策の柱	基2 安全で快適な暮らしやすいまちづくり	
政策名	2 魅力ある都市基盤の充実	
施策名	6. 総合交通体系の整備	
区分	なし	
基本事業名	在来線の利便性向上	

予算科目	コード3	001080101
会計	一般会計	
款	8. 土木費	
項	1. 土木管理費	
目	1. 土木総務費	

◆事業概要 (どのような事業か。事業の内容、業務の手順など)				実績		計画・目標		
北陸新幹線の建設地域において、新幹線に関連した公共施設の整備を促進することにより、地域の振興及び生活環境の整備並びに新幹線建設の円滑な促進を図る。				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
対象	(この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など)	対象指標	① 新幹線予定地沿線の地区数 (校下)	地区	8	8	8	8
	北陸新幹線建設地域及び新幹線予定地沿線住民		② 北陸新幹線関連公共施設整備事業の委託事業箇所数	箇所	1	1	1	0
			③					
手段	<平成23年度の主な活動内容>	活動指標	① 地元説明会数、打合せ回数、地権者との交渉回数等	回	35	30	10	1
	北陸新幹線建設地域において、新幹線に関連した公共施設の整備を促進することにより、地域の振興及び生活環境の整備並びに新幹線建設の円滑な促進を図る。		②					
			③					
意図	(この事務事業によって、対象をどのように変えるのか)	成果指標	① 新幹線建設が完成した地区数	地区	0	0	0	4
	北陸新幹線沿線の地域に対して周辺公共施設を整備することで、新幹線と共存し地域振興を図る		② 新幹線事業用地がほぼ取得された地区数 (校下)	地区	8	8	8	8
			③ 北陸新幹線関連公共施設整備事業の事業完了箇所数	事業	7	7	8	8
その結果	<施策の目指すがた>	↑ 成果指標が現段階で取得できていない場合、その取得方法を記入						
◆この事務事業開始のきっかけ (何年頃)からどのようなきっかけで始まったか)				財源内訳	0	0	5,066	0
平成13年4月、上越 (仮称)・富山間工事着手がきっかけで始まる。				①国・県支出金 (千円)	0	0	5,066	0
				②地方債 (千円)	0	0	0	0
				③その他(使用料・手数料等) (千円)	56,756	10,219	0	0
				④一般財源 (千円)	△ 10,874	45,218	10,132	0
				A. 予算(決算)額(①~④の合計) (千円)	45,882	55,437	15,198	0
◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化 (法改正、規制緩和、社会情勢の変化など)				①事務事業に携わる正規職員数 (人)	4	4	4	2
新幹線開業目標が平成26年度に設定されているため、平成22年9月に、諏訪町内に「魚津鉄道軌道建設所」が開設され、軌道工事や電気設備工事が行われている				②事務事業の年間所要時間 (時間)	780	440	780	390
				B. 人件費 (②×人件費単価/千円) (千円)	3,280	1,850	3,280	1,640
				事務事業に係る総費用 (A+B) (千円)	49,162	57,287	18,478	1,640
				(参考) 人件費単価 (円/時間)	4,205	4,205	4,205	4,205
◆市民や議会などからの要望・意見 (担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入)				◆県内他市の実施状況	(把握している内容又は把握していない理由の記入欄)			
地元地区より新幹線沿いの工事用道路を存続するよう要望が出ている。				● 把握している	北陸新幹線関連公共事業は、呉東地区はほぼ終わり、呉西地区が中心に事業が行われている。			
				○ 把握していない				

